

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-47328

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)4月22日

H 02 G 3/08  
B 60 R 16/02

M 9175-5G  
T 7626-3D

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑮ 考案の名称 ジョイントボックス等の仮止め構造

⑯ 実 願 平2-88370

⑰ 出 願 平2(1990)8月27日

⑱ 考 案 者 荒 木 護 静岡県湖西市鷺津1424 矢崎部品株式会社内

⑲ 出 願 人 矢崎総業株式会社 東京都港区三田1丁目4番28号

⑳ 代 理 人 弁理士 滝野 秀雄 外3名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) ボックス本体の上下端に固定用ブラケットを突設し、パネルに開設された取付孔の上下縁に、該固定用ブラケットに対するネジ止め部を設けると共に、該取付孔の下縁に、前記下端の固定用ブラケットに対する差込溝を設けてなる構造において、前記ボックス本体の上端に、前記パネルに対する引掛片を突設して、該引掛片を該パネルの裏側に当接させて該ボックス本体の傾倒を防止したことを特徴とするジョイントボックス等の仮止め構造。

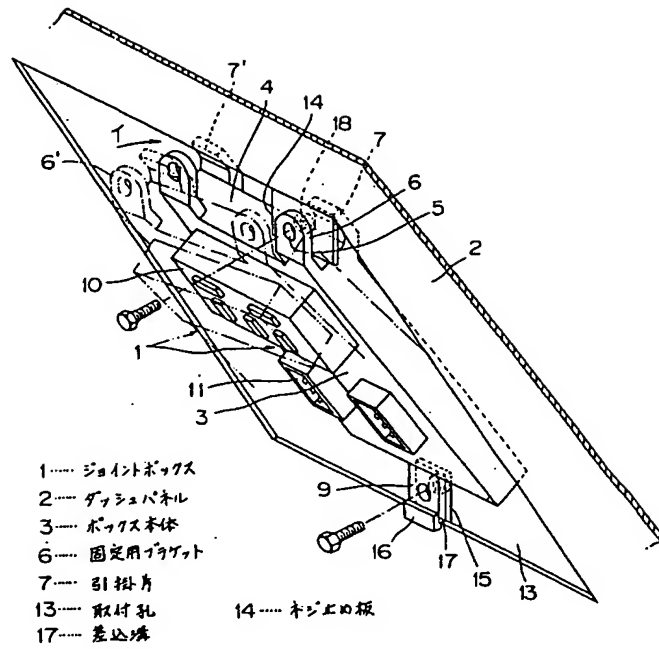
(2) 前記引掛片に可撓性を付与させ、前記ボックス本体を前記取付孔に対して手前方から嵌め込み可能とした請求項(1)記載のジョイントボック

ス等の仮止め構造。

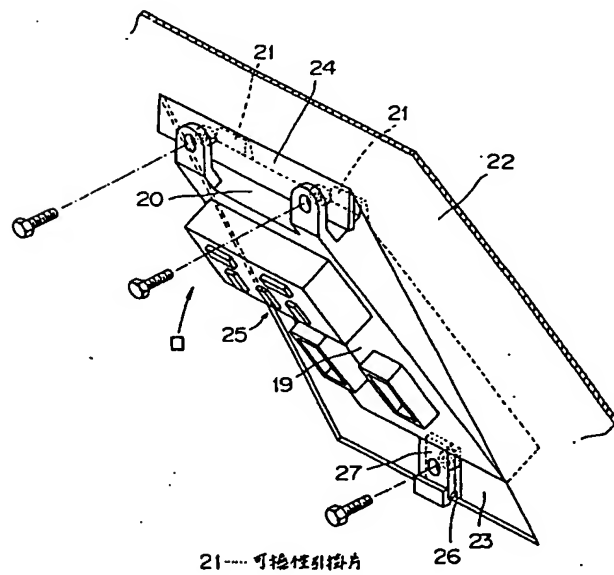
図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示す斜視図、第2図は同じく縦断面図、第3図は変形例を示す斜視図、第4図は同じく縦断面図、第5図は従来例を示す縦断面図(第6図のA部拡大図)、第6図は同じく概観図、第7図は同じくジョイントボックスの斜視図である。

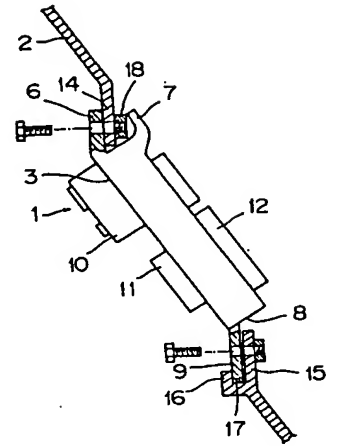
1, 25……ジョイントボックス、2, 22……ダツシュパネル、3, 19……ボックス本体、4, 20……上端壁、6, 6', 9……固定用ブラケット、7……引掛片、8……下端壁、13, 23……取付孔、14, 24……ネジ止め板、17, 26……差込溝、21……可撓性引掛片。



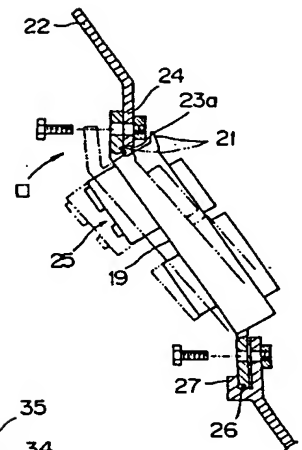
第 1 図



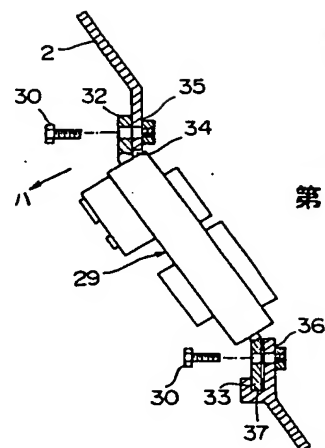
第 3 図



第 2 図



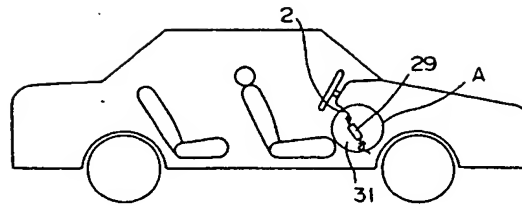
第 4 図



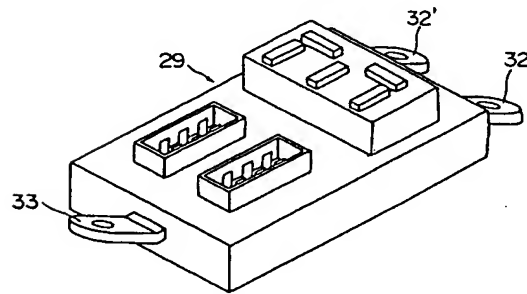
第 5 図

(3)

実開 平4-47328(3)



第 6 図



第 7 図